

上杉地区 社協だより

第3回福祉委員研修会報告

2月17日 初めての町内会長・福祉委員
交流会が開催されました。

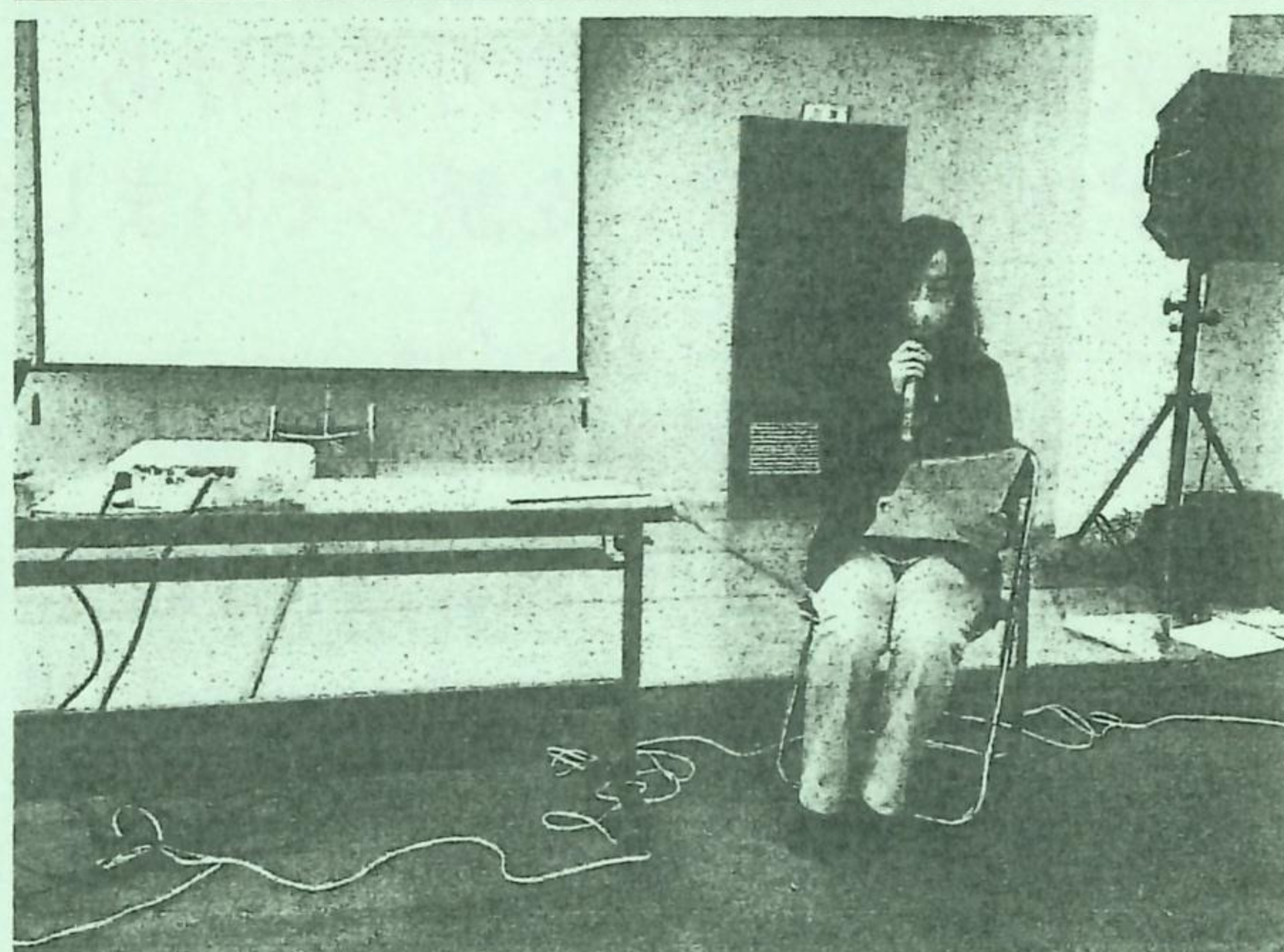
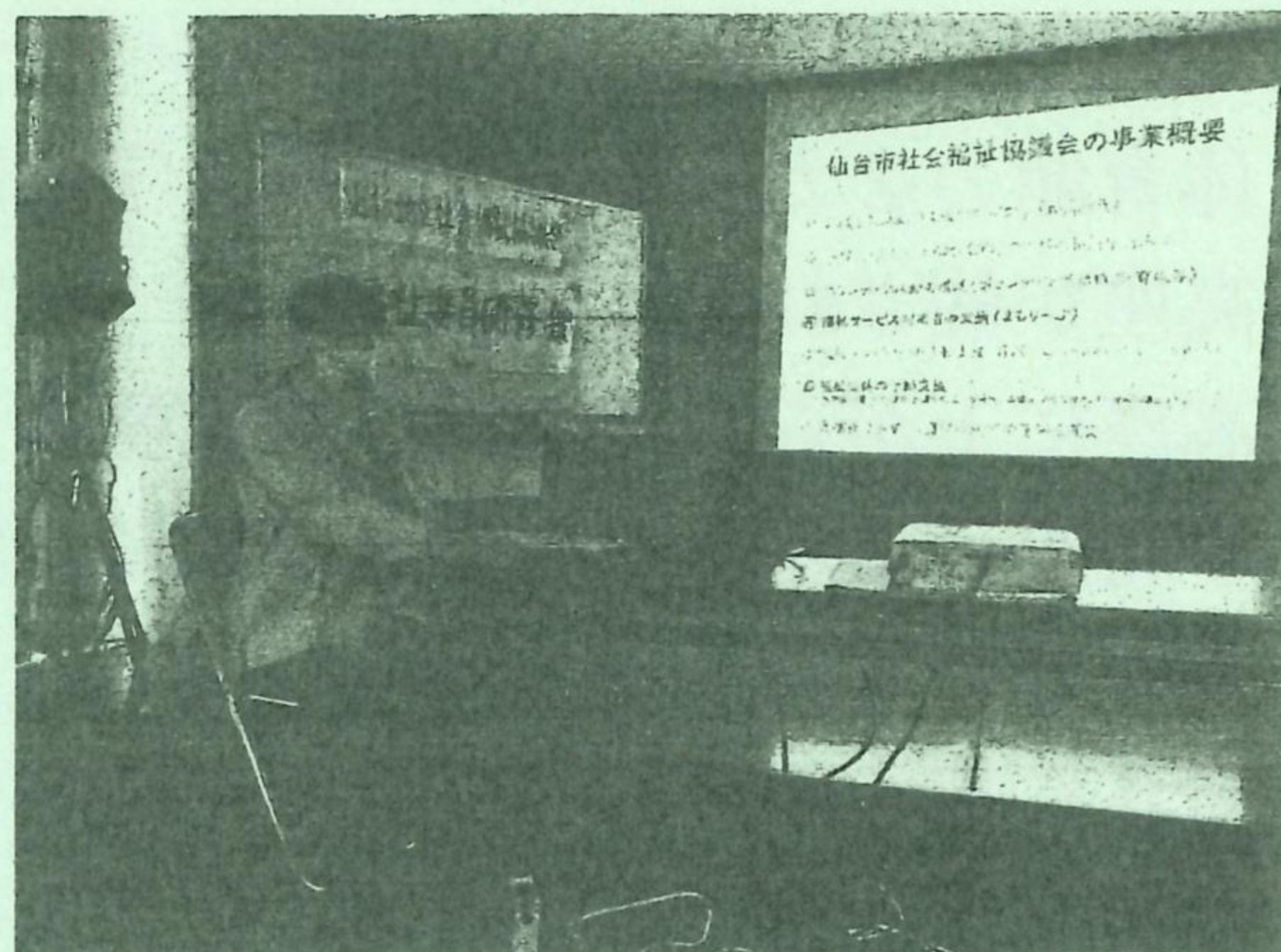
町内会長17名、福祉委員14名の方々、そして、上杉包括支援センターから澤田由香里さん、山川真理絵さん、社協青葉区事務所から菊地係長の参加をいただきました。

プログラムは(1)「見守り活動の事例」について菊地係長から説明(2)「見守りマップの作り方」について包括支援センターの澤田さん山川さんから説明があり、(3)それに基づいてグループディスカッションを行い、町内会長と福祉委員が意見交換を行いました。その後は皆さんで昼食を食べながら、少しの飲み物もあって楽しい懇親の場となりました。これからも町内会長さんとの話し合いの場を設けたいと思います。積極的にご参加ください。

2月27日 仙台市障害理解サポーター
(ココロン・サポーター)養成研修会が
民児協・社協の共催で開催されました。

仙台市社会福祉協議会から鳴原真一さんを講師に迎えて学習しました。障害は「個人の心身機能の障害」と「社会にある障壁(バリア)」の相互作用によって創り出されること。そして身体障害には機能障害(視覚障害など)精神障害(統合失調症など)知的・発達障害があること。また、バリアには、物理的(道路など)制度(社会のルール)情報(情報不足)心(心ない言葉)など様々な障害とバリアの種類がある事が分かりました。

福祉のまちづくりは、なんと仙台市から始まったとのこと。普段にちょっとした工夫や配慮があれば 私たちにできる事がたくさんあります。困っている様子を見かけたら、手助けが必要か本人に確認し、私たちにできることを工夫しましょう。ちょっとした思いやりと支え合いが大切ということでした。



第2回ふれ合いサロン

落語で笑って口角フレイルしました！

2月21日上杉コミュニティーセンター、3月2日青葉体育館の2カ所で東北学院大学の落語研究会の高座が催されました。

高座に上がったのは、頑張亭らく杜さん、黄亭花透音さん、楽進亭瑠嘉さん、藍舎都羽さんの4方です。

皆さん持ち前の話術で会場を笑いの渦を作っていました。特に頑張亭らく杜さんは全国学生落語大会で第3位の实力者だけあって話術のみならず体全体で笑いを誘っていました。本当にありがとうございました。

なお、会場で能登半島地震への災害義援金をお願いしましたところ、22,283円の支援をいただきました。義援金は上杉日赤奉仕団に届けさせていただきます。ありがとうございました。



町内会長の皆様へ 今年度も1年間大変お世話になりました、感謝申し上げます。

社協の活動は、皆さんからの会費と福祉委員の方々の活動によって支えられています。しかし残念ながら約半数の町内会から福祉委員が推薦されていない状況が続いています。これでは地区全体へ満遍なく福祉活動を行き渡らせることが出来ません。高齢化が進む今、是非 全町内会から福祉委員を推薦頂くか、町内会役員の中から福祉委員の兼務者を推薦頂きたいと思っています。町内会長の皆さまのご協力を心からお願いいたします。